

警察庁

NATIONAL POLICE AGENCY

警察庁事務官採用案内

NATIONAL POLICE AGENCY

警察庁

警察庁事務官採用案内

国家公務員採用一般職試験
(大卒程度・行政・教養区分／高卒者・事務区分)



採用窓口

お問合せ先	所在地	電話番号	交通手段
警察庁 長官官房人事課	東京都千代田区 霞が関2丁目1番2号	(03)3581-0314 (直通)	東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線 「霞ヶ関駅」下車 徒歩1分 又は 東京メトロ有楽町線「桜田門駅」下車 徒歩3分
北海道警察情報通信部 通信庶務課	札幌市中央区北2条西7丁目 北海道警察本部庁舎12階	(011)251-0110 内線6032	J R「札幌駅」下車 徒歩15分 市営地下鉄南北線、東豊線「さっぽろ駅」下車 又は 市営地下鉄南北線、東西線、東豊線「大通駅」下車 徒歩10分
東北管区警察局 警務課	仙台市青葉区 本町3丁目3番1号 仙台合同庁舎B棟15階	(022)221-7181 内線2622	市営地下鉄「勾当台公園駅」下車 徒歩2分
東京都警察情報通信部 通信庶務課	東京都千代田区 霞が関2丁目1番1号	(03)3581-4321 内線60311	東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線「霞ヶ関駅」下車 徒歩3分 又は 東京メトロ有楽町線「桜田門駅」下車 徒歩1分
関東管区警察局 警務課	さいたま市中央区新都心2番地1 さいたま新都心合同庁舎 2号館22階	(048)600-6000 内線2636	J R京浜東北線「さいたま新都心駅」下車 徒歩5分
中部管区警察局 警務課	名古屋市中区三の丸 2丁目1番1号 愛知県警察本部庁舎本館8階	(052)951-6000 内線2622	市営地下鉄名城線「名古屋城駅」下車 徒歩5分
近畿管区警察局 警務課	大阪市中央区大手前 3丁目1番41号	(06)6944-1234 内線2632	大阪メトロ谷町線・大阪メトロ中央線「谷町四丁目駅」下車 徒歩2分
中国四国管区警察局 警務課	広島市中区上八丁堀6番30号 広島合同庁舎1号館5階	(082)228-6411 内線2632	J R広島駅からバスセンター経由バスにて 「合同庁舎前」バス停下車
四国警察支局 警務・監察課	高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎南館9階	(087)821-3111 内線2632	J R「高松駅」下車 徒歩3分
九州管区警察局 警務課	福岡市博多区東公園 7番7号 福岡県警察本部庁舎5階	(092)622-5000 内線2632	J R「古塚駅」下車 徒歩5分 又は 市営地下鉄箱崎線「馬出九大病院前駅」下車 徒歩2分

警察庁事務官とは

警察庁事務官は、警察行政の事務部門を担う、必要不可欠な存在です。その業務は幅広く、庶務、給与、会計、福利厚生、鑑識資料の登録等、様々なフィールドにおいてその中核となって活躍しています。

犯罪捜査等の警察権限の行使に関連する業務等を担当する警察庁警察官、警察独自の情報通信部門等を担当する警察庁技官と一体となって、警察組織を支えています。



CONTENTS

第1部 組織紹介

警察機構図 04

第2部 警察庁本庁

活躍のフィールド 07

お仕事クローズアップ 08

職員の日 09

職員座談会 10

第3部 管区警察局 東京都・北海道警察情報通信部

各機関の紹介 12

活躍のフィールド 14

職員からのメッセージ 15

若手職員Q&A 16

職員の日 17

第4部 ワークライフバランス

仕事と育児等の両立支援制度 18

その他の制度 19



警察庁事務官は、警察庁本庁で採用される場合と、各管区警察局、東京都警察情報通信部、北海道警察情報通信部で採用される場合があります。

警察庁本庁で採用された場合は、警察庁内の各局部や附属機関に配属され、主に東京都内で勤務することとなります。採用後、キャリアアップの一環として、地方機関等で勤務する場合があります。



①～⑨で採用された場合は、それぞれの本局及びその管轄区域内の府県（①④についてはそれぞれの採用地）での勤務となりますが、警察庁等で勤務する場合があります。



警察庁本庁（東京都）



① 北海道警察情報通信部（札幌市）



② 東北管区警察局（仙台市）
管轄／青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島



③ 関東管区警察局（さいたま市）
管轄／茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・新潟・山梨・長野・静岡



④ 東京都警察情報通信部（東京都）



⑤ 中部管区警察局（名古屋市）
管轄／富山・石川・福井・岐阜・愛知・三重



⑥ 近畿管区警察局（大阪市）
管轄／滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山



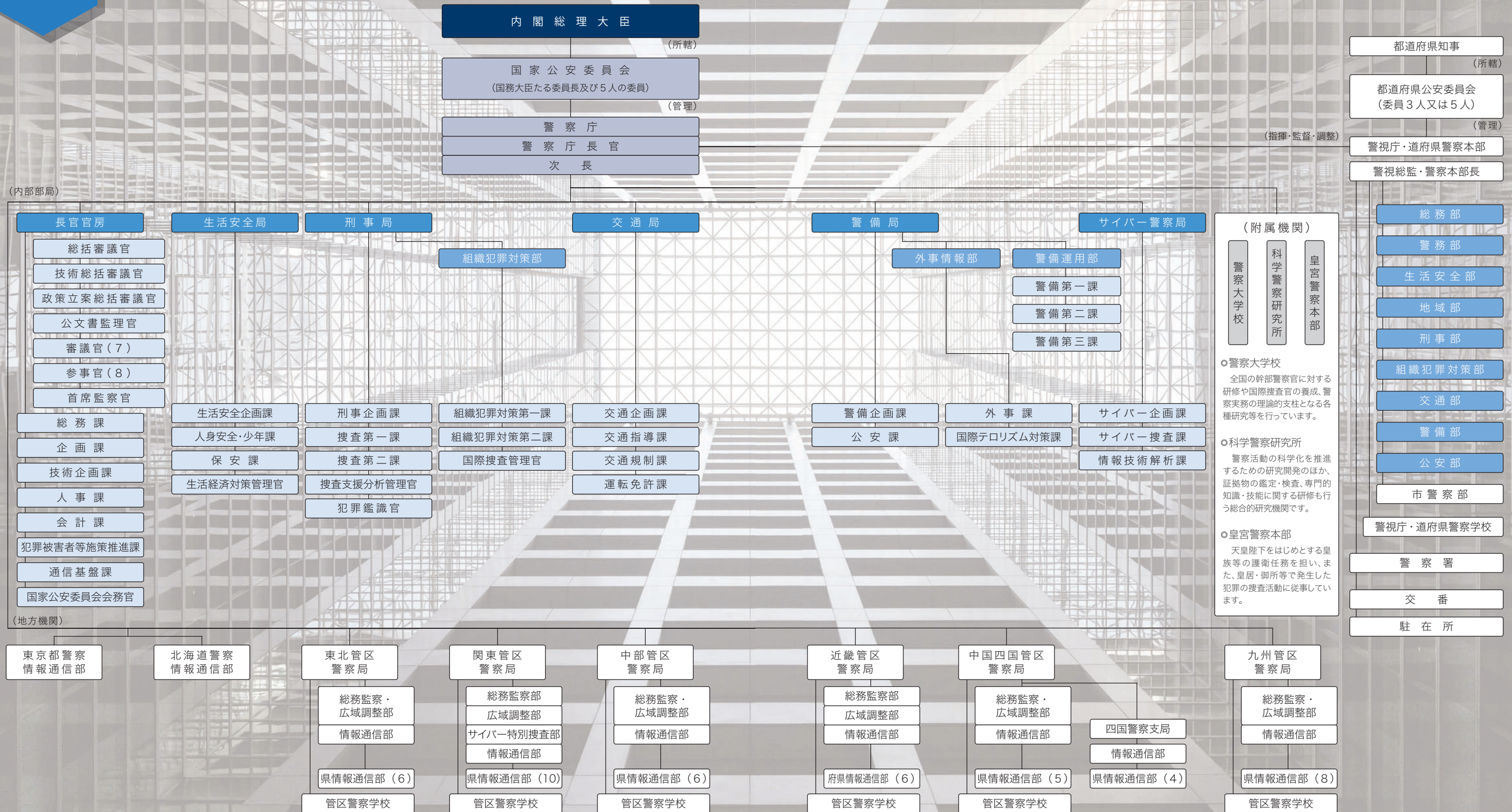
⑦ 四国警察支局（高松市）
管轄／徳島・香川・愛媛・高知



⑧ 中国四国管区警察局（広島市）
管轄／鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知



⑨ 九州管区警察局（福岡市）
管轄／福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄



警察の沿革

我が国の警察は、明治7年、当時の内務省に警保寮が設置されて以来、第二次世界大戦の終了まで、中央では内務省警保局、地方では知事によって管理運営されてきました。戦後の昭和22年に警察法が制定され、23年から国家地方警察と市町村自治体警察の二本立ての制度となりました。その後、29年に警察法が全面的に改正され、警察運営の単位が現在の都道府県警察に一元化されました。

国の警察機関

国の警察機関として、内閣総理大臣の所轄下にある国家公安委員会の管理の下に警察庁が置かれ、全国的な視野から治安維持の責務を担っています。「所轄」、「管理」とは、他省庁におけるような直接的な指揮監督関係との相違を意味する言葉で、その趣旨は、警察の政治的中立性を確保することにあります。また、警察庁は各種国際会議の主催・参加やICPO(国際刑事警察機構)への幹部の派遣等、「治安先進国日本」の警察として、各国警察との協力や、国際的な活動を積極的に行っています。

都道府県の警察組織

都道府県には、都道府県知事の所轄下にある都道府県公安委員会の管理の下に都道府県警察が置かれています。都道府県警察には、警察本部、警察署が設置されており、さらに、警察署の下部組織たる交番、駐在所のネットワークが全国に張りめぐらされ、安全で住み良い社会づくりを目指しています。

警察庁と都道府県警察の関係

都道府県警察はその管轄区域における一切の第一次的治安責任に任ぜられています。警察庁は、全国警察組織の中核を占める中央官庁として、国家的・調整的見地から治安責任を担い、その所掌事務について都道府県警察を指揮、監督、調整しています。

第2部

警察庁本庁



警察庁とは

警察庁は、全国約30万人のマンパワーを擁する警察組織の中枢機関であり、各種施策の企画立案等に当たるとともに、警視庁や道府県警察の指揮監督等を行うことにより、個人の権利と自由を保護し、公共の安全と秩序を維持することを任務としています。



世界に誇れる日本の治安

会計課装備室長
森本 直樹

Morimoto Naoki

昭和62年
入庁

コロナ禍で衰退していた訪日外国人の数が昨年は年間 4,200 万人を超え、過去最高を記録したそうです。渡航先に日本を選択する理由の一つとして「治安の良さ」を挙げる人が少なくありません。このような話題に触れる度に、我が国の安全・安心が世界から見ても守られていることを実感します。

私が在籍する装備室では、現場活動で必要となる拳銃や車両など、多種多様な装備品の整備に関する業務を担っています。最近では、真夏の酷暑においても現場の警察官が活動しやすい衣服等を導入するなど、新たな装備品の開発や改善にも力を入れています。

私たち警察庁事務官は、国の治安を守る警察活動を下支えることに誇りと使命感をもって、日々業務に取り組んでいます。世界に誇れる我が国の治安を守るために、皆さんとともに仕事ができることを期待しています。



多くの人との出会い

人事課人事係では、異動に関する業務や採用活動のほか、職員の俸給決定や人事評価など、人事に関わる幅広い業務を行っています。

私は主に、任用行事の準備・調整やウェブサイトに掲載する広報資料の作成、職員の就労等の各種証明の発行手続きを担当しています。異動時期ともなると任用行事も多く、組織内外の多数の職員と連絡を取り合い、突然の予定変更にも対応を求められるなど、スケジュール調整の難しさを感じますが、正確性とスピード感を意識して丁寧に取り組んでいます。

また、採用活動の一環として各地を訪問し、警察庁事務官の業務内容について説明する機会もあります。こうした人と人との関わりが大きいところが人事係の魅力であり、日々、やりがいを感じています。それと同時に様々な経験を積み重ねることが、大きな成長へとつながっていることを確信しています。



令和2年 入庁
人事課 係員



全国の警察活動を支える

私が所属する刑事企画課は、全国警察の刑事部門に対する捜査指導や刑事手続きに関する制度の立案等を行っています。私は庶務係として、物品管理や契約業務、人事異動時の諸手続等を担当しています。

皆さんは「重要指名手配」のポスターを見たことがありますか？私が担当する契約業務では、このポスターの印刷を選定業者に依頼し、全国の警察へ発送するための各種手続を行っています。自分が行った手続によって全国にポスターが行き渡り、街中で掲示されているのを見ると、なんともいえない達成感を感じます。

警察庁事務官の業務は成果として目に見えたり、すぐに結果が出たりするようなものではありませんが、警察活動を支える重要な仕事であり、警察組織の一員であることに誇りをもって業務に取り組んでいます。



令和2年 入庁
刑事企画課 係員

犯罪組織の撲滅を目指して

組織犯罪対策第一課にある犯罪収益対策室では、犯罪収益移転防止法に基づき、民間の事業者から届けられた疑わしい取引に関する情報を集約・整理・分析し、捜査機関等に提供しています。これらは特殊詐欺等のマネー・ローンダリング事犯の捜査等に活用されています。

私は分析係として疑わしい取引に関する情報等が記載されている届出の内容を精査し、データベースに情報を登録する業務を行っています。外部の方との電話でのやり取りも多く、対応に苦心することもあります。特殊詐欺等の犯罪組織の撲滅に向けた一助になれるよう、担当業務をひとつひとつ丁寧にこなしています。

また、警察庁には経験豊富な警察職員が全国から出向してきていますので、特殊詐欺等対策のような専門的な知識を必要とするものであっても協力しながら仕事を進めることができます。事務官と警察官がひとつのチームとして仕事ができることも魅力の一つです。



令和4年 入庁
組織犯罪対策第一課 係員



職員の生活と健康をサポートする

サイバー企画課では、サイバー警察に関する制度や運営の企画立案、サイバー空間をめぐる脅威の情勢に関する情報収集や分析等を行っています。昨今の社会情勢を踏まえ、令和4年に新たに発足した「サイバー警察局」に属し、流動的かつ膨大なサイバー空間の脅威に立ち向かう、勢いのある組織です。

私は庶務係として、職員の勤務時間管理や福利厚生、健康施策等を担当しています。職員の生活や健康と密接に関係するため、伝達事項はわかりやすく、対応は正確かつ丁寧に行うことを心掛けています。また、様々な制度を活用すればワークライフバランスに沿った柔軟な働き方ができるため、利用しやすい環境作りにも取り組んでいます。



職員のサポート役としてのやりがいを感じるとともに、感謝の言葉を伝えられたときには大きな喜びと達成感があります。

職員のサポート役としてのやりがいを感じるとともに、感謝の言葉を伝えられたときには大きな喜びと達成感があります。



平成28年 入庁
サイバー企画課 主任

お仕事クローズアップ



令和2年 入庁
犯罪鑑識官付 係員

指紋のプロフェッショナルを目指して

Q1 所属と担当業務を教えてください。

私は、刑事局犯罪鑑識官付に所属しています。ここでは犯罪鑑識に関する業務を幅広く行っており、総務部門、指紋部門、資料部門、DNA 部門と大きく4つに分かれています。

私はその中で指紋部門の庶務業務（主に鑑識資機材の管理・調達や庁舎設備の管理）及び指掌紋等に関する統計業務を担当しています。

Q2 勤務地は霞が関ですか？

犯罪鑑識官付の勤務地は部門によって異なり、霞が関や科学警察研究所（柏市）などがあります。所属の中で複数の勤務地があるというのは警察庁の中でも少数派です。

Q3 指紋を扱う部門では、ほかにどのような業務を行っていますか？

依頼のあった被疑者の指掌紋（指先の「指紋」と手のひら全体の「掌紋」）について、システムに登録されたものと照合し、身元や犯罪経歴を確認する業務や犯罪経歴のない被疑者の指掌紋を自動識別システムに登録する業務などがあります。また、犯罪現場で採取された指掌紋と被疑者の指掌紋を照合し、余罪を確認する業務など、指掌紋に関する業務には様々なものがあります。犯罪事実の立証において重要な証拠を扱っているという点においては、捜査活動に最も近いといえるのではないのでしょうか。

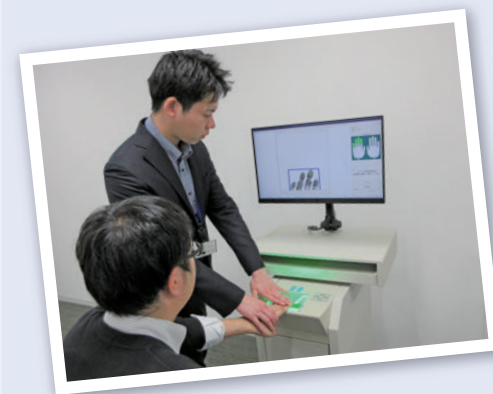
Q4 専門的な分野ですが何か資格が必要ですか？

特に必要ありません。私自身、採用されてすぐに指紋部門へ配属されました。もちろん指紋に関する知識はありませんでしたが、職場では新任者に対してしっかり教養が実施されましたし、実務を通じて経験豊富な先輩方が丁寧に教えてくれたので不安を感じることはありませんでした。

Q5 職場の雰囲気はhowですか？

指紋部門は一般行政職員の数が多く、上司や同僚とのコミュニケーションが年代を超えて積極的に行われており、自分の意見を話しやすい風通しの良い職場です。

また、職員数が多いこともあり、業務分担や調整がスムーズに行える環境が整っていることから休暇も取りやすく、プライベートにおいても充実した時間を過ごすことができます。

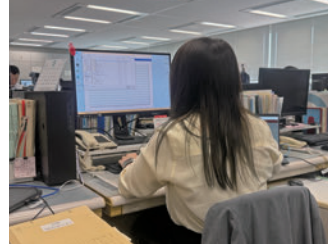


8:00 出勤



通常は9:30出勤ですが、早出勤制度を利用して早めに出勤しています。通勤ラッシュと被らないため出勤後の疲労感が少なく、朝から余裕を持って元気に働くことができます。反対に出勤時間を遅らせることもできるので、自分のライフスタイルに合わせて勤務計画が立てられます。

9:30 日報集計



交通事故の統計業務では、前日の交通事故発生状況を集計し、関係機関に広報しています。毎朝各道府県から届く報告を円滑に集計できるよう連携を取り、決められた時間に広報ができるようにしています。毎日集計をしているので、小さな数値の変化にも敏感になります。

12:00 昼食



昼休みは気持ちをリフレッシュして、午後の業務に向けた準備をする大切な時間です。同期とランチを食べに行くこともあります。お互いの近況や仕事の話など、とりとめのない会話が盛り上がり、楽しい時間を過ごしながら英気を養っています。

13:00 資料作成



交通事故の分析で活用する各種資料を作成します。専用のシステムを使用して都道府県別、年齢別、状態別など様々な条件で全国の数値を抽出し、集計します。中には海外の資料を含むこともあり、グローバルな視点で活用されていると感じます。また、数値に誤りがないようダブルチェックを行うなど、係内での連携も重要となります。

15:00 広報作業



交通に関する各種資料を警察庁のホームページに掲載し、関係機関に送付するなど、広報作業を行います。実際に交通事故の分析等で活用され、広報資料は全国ニュースやネット記事で取り扱われることもあります。自分の仕事が目に見える形で実感できるため、大きなやりがいを感じます。

16:45 退庁



翌日の仕事内容等を整理し、定時退庁を心掛けています。朝早い分、定時でも外が明るい時間に帰ることができるのは気分的にも明るくなります。退庁後は、友人と食事に行ったり、ショッピングを楽しんだり自分の時間を大切にしています。オンとオフをしっかりと切り替えリラックスすることで、明日からの仕事も頑張ろうと思えます。

休日の過ごし方

休日はライブや舞台鑑賞など、充実した時間を過ごしています。旅行も兼ねて遠征するなど、非日常的な空間で過ごすことが仕事への活力になっています。また、水族館巡りをしてゆっくりとした時間を過ごすこともあります。水中の幻想的なクラゲの姿を眺めていると、日々の疲れが癒されていくようです。



入庁から1年 ～これまでに振り返って～



採用当時に振り返って

司会(人事担当者。以下「司」)：皆さん、入庁して1年が経ちましたが、振り返ってみていかがですか？ 採用当時の思い出などありますか？

D：最初は所属の人の顔と名前を覚えるのが大変でした。

A：同じです。話しかけられても誰なのかわからなかったり。

C：名前の読み方がわからなくて困ったりしましたね。

B：電話は特に難しいよね。聞いたことのない珍しい名字だと何度も聞き返したりしました。

E：私は担当業務のことについて、いろいろ質問されることにびっくりしました。

C：確かに！採用1年目とか関係なく質問がくるよね。

E：よりによって何故私に？というのがありました(笑)

司：皆さん、迷いながらここまで来たんですね。

B：私は庁舎内でまだ迷うことがあります。

A：それはある！他の所属が何階にあるのかいまだにわからない(笑)



警察学校での生活

司：採用後は関東管区警察学校の初任科に入校します。入校生活はいかがでしたか？

B：良い意味でイメージと違っていました。もっと厳しいと思ってました。

A：そう！もっと走らされるとかと思ってたよね。

E：私はそこまで厳しいイメージはなかったかな。事前に先輩から話を聞いていたので。

D：入校中は本当に楽しかったのですが、最後の方は寂しくなりました。

C：放課後、みんなで集まってわいわい話するのが楽しかったよね。

D：あと印象に残っているのは、刑事警察の講義ですね。実際の捜査にまつわる話を聴けたのはとても興味深いものでした。

A：講師として警察官の方もいらしたので、貴重な経験談をたくさん聴けましたね。警察組織の一員になったことを実感しました。

やりがい、成長、これからの目標

司：担当業務でやりがいを感じるのはどんなときですか？

C：やはり職員の皆さんから感謝の言葉を伝えられたときですね。

E：庶務係は様々な手続きで職員をサポートする機会が多いので、とてもよくわかります。異動された職員の方から書類を送付された際に、一言感謝のお手紙が添えられていたときは嬉しかったです。

D：異動された方からのメールもありますね。心遣いが感じられるとやっぱり嬉しいですね。

A：自分の仕事が誰かの役に立っているんだ、と実感できますね。以前、県警の方が「警察庁あってこそその県警」とおっしゃったのが心に残っています。もっと仕事を頑張ろうと思えました。

B：自分の場合、ひとつの業務を終えたときの達成感のかなと。国有物品の検査に行った際に、これまでに培ってきた知識を生かして説明することができたので、無事に終わったときには大きな達成感がありました。



D：達成感でいうと、私は国際会議の受付業務を担当したことが印象に残っています。大規模な会議で緊張しましたが、所属一丸となって取り組んだのは良い経験になりました。

E：私の所属でいうと「白バイ競技大会」ですね。報道陣の受付を担当したのですが、目の前で競技を見ることができたので、ある意味特等席でした。所属ならではの行事に参加できるのもやりがいの一つですね。

司：採用当時と比べて、一番大きく成長を感じるのはどんなところですか？

C：礼儀や言葉遣いの面で大人になったなぁと感じます。

E：それはありますね。最初は緊張した電話対応も今では普通にできますし。

C：あとはメンタル面でも一回り成長したと思います。仕事で失敗したときに自分を元気づける方法を身に付けました(笑)

A：確かに、落ち込んだときの自分なりの回復方法がありますね。

D：仕事が忙しいときも周りを見る余裕ができたように思います。

B：自分の場合、忙しいとずっと仕事をやり続けてしまうので、上司からは「ある程度で区切りを付けよう」と言われます。忙しいときこそしっかり休養をとることも大事だなと思うようになりました。

A：最初の頃はとにかく失敗することを恐れていましたが、上司から「失敗してもどうリカバリーするかを考えれば大丈夫だから」と言われて、気持ちがとても軽くなったのを覚えています。その言葉は今でも支えになっています。

司：これからやってみたい仕事や目標はありますか？

B：会計業務の他の係を経験してみたいです。ある程度経験を積んで、いずれは県警へ出向して警察署で勤務してみたいですね。

D：同じ係の先輩が庶務全般に精通した方で、すごいなぁと思っていて。私も担当業務のことなら何でもわかるようになりたいです。

A：自分はまだまだ経験不足を感じます。2年目なので、もう少し今の業務を続けていきたいですね。周りから頼られるような係員になればと思います。

C：今はまだ知識も経験も足りないのですが、とにかく色々な業務にチャレンジしたいという気持ちの方が強いですね



1年前の自分へ

司：これから警察庁に採用される後輩、あるいは1年前の自分に対してどんなことを伝えたいですか？

E：所属ではとにかくいろんな人に積極的に話しかけていった方がいいよ！と伝えたいです。顔と名前を覚えるというのがありますが、やはり仕事で何かお願いする場面などでは、一度でも話したことがある方が進めやすいと感じたので。

A：最初は不安だらけだったので、「めげないで」と伝えたいです。失敗してへこむこともありますが、めげずにいろいろやってみるのが大事だなと、この1年で思いました。



C：わかります。私も担当業務について、最初は「自分にできるのかな」と不安でしたが、先輩から教わったり勉強したりして少しずつできるようになりました。その経験から「やればできる！」と思うようになったので、「挑戦し続けることが大事」と伝えたいです。

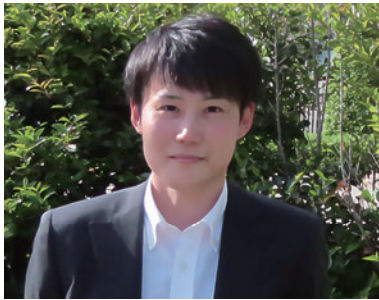
D：私は「挨拶しよう」ですね。私自身、最初はできることが少ないので挨拶だけでもしっかりやろうという思いがありました。仕事は人と人との関わりなので、やはり挨拶は大事だなと感じますし、これからも続けていきたいと思っています。

司：この1年での皆さんの成長が感じられる素晴らしい座談会でした。これからも目標に向かって頑張ってください！

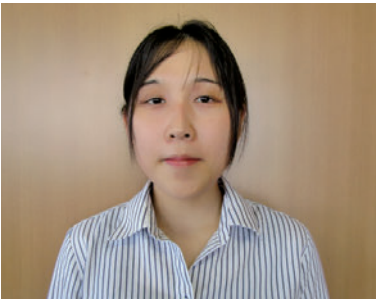


管区警察局 東京都・北海道警察情報通信部

第3部



令和4年 入庁
中国四国管区警察局
警務課 主任



令和4年 入庁
九州管区警察局
宮崎県情報通信部
通信庶務課 主任



令和3年 入庁
東京都警察情報通信部
通信庶務課 主任



令和2年 入庁
北海道警察情報通信部
通信庶務課 主任

管区警察局の紹介

全国に6つの管区警察局（東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州）と1つの支局（四国）があり、管区警察局の附置機関として管区警察学校があります。管区警察局（支局）は警察庁の地方機関として、管轄区域内にある各府県警察本部に対する指揮・監督のほか、警察運営の各種調整業務を行っています。

役割と魅力

各管区警察局には、総務監察、広域調整、情報通信という3つの部門があります。警察行政事務を能率的に処理するために管区警察局が主体的に業務を行うこともあれば、警察庁（本庁）と地方とのパイプ役として調整を行うこともあります。担当業務によって、本庁はもちろん、管区内各府県警察の担当者との緊密な連携が求められるため、日々の業務を通じて様々な経験を積むことができるのが管区警察局の魅力だと思います。



府県情報通信部の紹介

各管区警察局（支局）が管轄する各府県には情報通信部が設置されており、職員は各府県警察本部の建物の中で勤務しています。警察官が使用する無線機や通信専用回線の整備、捜査支援としての解析業務など、情報通信に関する業務を第一線に近いところで行っており、その中で事務官は「予算管理」「契約業務」「物品管理」など、主に会計部門の業務を行っています。

現場を支える

警察庁の地方機関の中では各府県警察本部との連携が最も重要となります。例えば、「国民スポーツ大会」のような各府県で開催される大規模イベントの警備において、情報通信部と警察本部は相互に連携を取り合い、一丸となって任務にあたります。各府県情報通信部は現場密着型の支援が可能となるため大きなやりがいがあり、イベント終了時には無事に完遂したという成果を実感することができます。



東京都警察情報通信部の紹介

東京都警察情報通信部は、警察庁（本庁）に隣接する警視庁の建物の中にあります。首都東京を管轄する警視庁を情報通信部門で支えており、第一線に近いところで様々な業務に取り組んでいます。

東京の治安を守る

犯罪捜査の支援や装備資機材の整備のほか、大規模イベントの警備、各国から来日する要人の警護に関連する業務など、東京ならではの業務も多くあります。事務官の業務は会計経理や物品調達などによって間接的に現場を支えており、警視庁と連携して治安維持に貢献できることに大きなやりがいと魅力を感じます。



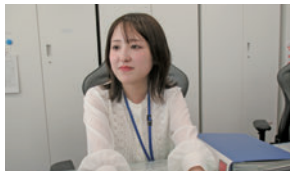
北海道警察情報通信部の紹介

北海道警察情報通信部は、札幌、函館、旭川、釧路、北見の5つの方面に分かれており、それぞれが連携して広大な北海道の警察通信網を維持管理するなど、北海道警察を情報通信技術で支えています。

通信システムの根幹

情報通信部の要ともいえる通信システムの技術部門については、技官が担当しています。事務官は、それに伴う「物品の調達」「システム関係の工事契約」「予算管理」等、主に会計部門の業務を担当しています。一連の業務の根幹となる重要な部分であり、大きなやりがいがあります。また、採用後は基本的に道内で勤務することができるという点も魅力の一つです。





令和4年 入庁
近畿管区警察局会計課
主任

予算係

予算係の業務のうち、私が主に扱っているのは「人件費」（職員の給与等を支払うために必要な経費のこと）です。管区内で必要となる人件費の見込額を定期的に調査し、支払いに必要な予算を要求します。見込額は多すぎても少なすぎてもいけないので、毎回しっかりチェックしています。ほかにも物品の購入費用や出張旅費、府県警察本部へ配分する補助金等、予算に関する業務は多岐に渡っています。

💡 ここがポイント！

予算業務で重要なことは数字の正確性です。そのためには予算関係の法令を理解し、各部署と連携・調整することが不可欠です。お金に関する業務という点では緊張感もありますが、経験を積み積むほど自分の成長を感じることができます。



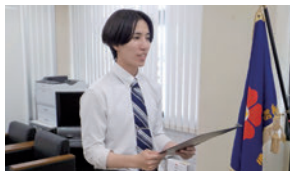
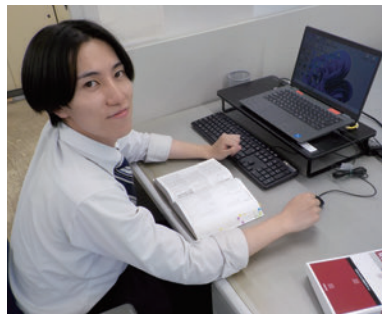
令和3年 入庁
四国警察支局警務・
監察課 係長

給与厚生係

給与厚生係の業務は、職員の給与及び健康管理・福利厚生に関するものです。私は主に厚生関係の担当として、健康診断の実施、社会保険料に関する手続き、各種給付金や児童手当の支給事務など様々な業務を行っています。そのどれもが職員の生活に密接に関わるものであると同時に個人情報も多く扱うため、守秘義務を徹底しています。また、職員一人一人に寄り添った丁寧な対応を行うことを心掛けています。

💡 ここがポイント！

私が大切にしていることは、人と人との連携です。円滑に業務を進めていくために職員同士はもちろん、共済組合や保険会社の担当者など、関係者との情報共有や細やかな連絡調整が欠かせません。時には難しさを感じることもありますが、職員が安心して働くことのできる環境作りに貢献できる点に大きなやりがいを感じています。



令和2年 入庁
関東管区警察局埼玉県
情報通信部通信庶務課 主任

経理係

経理係には、予算管理、物品購入や業務委託に伴う契約手続、支払い、旅費に関するものなど、様々な業務があります。また、契約に至るまでに入札の実施やインターネットを活用した公告を行うなど、公平・公正な契約を確保することも重要な役割の一つです。国の予算を扱うため、適正かつ効率的な執行が求められると同時に、正確性と責任感をもって業務に取り組む必要があります。

💡 ここがポイント！

経理係の主な業務に「予算の要求・管理」があります。数字の正確性はもちろん、各部署から聞き取りなどを行い、予算を必要とする背景を把握することも重要です。また、日々の予算管理や支払い業務を通じて、各部署の動きや変化を感じ取れる点にも面白さがあります。



令和2年 入庁
中部管区警察局三重県
情報通信部通信庶務課 主任

資材係

資材係の主な業務は、警察活動を支える物品を調達・管理することです。物品には業務で使用するパソコンや文具のほか、無線機などの装備資機材も含まれ、実に多種多様です。資材係はこれらの物品をいつでも使用できる状態で管理し、警察活動において効率的かつ効果的に運用できるようサポートしています。「大阪・関西万博」のような大規模イベントが開催される際には、全国の情報通信部が一丸となって支援します。

💡 ここがポイント！

自県において大規模イベントが開催される場合、全国から多数の物品支援を受ける側となります。到着・返却時には不足や損傷がないか、必ず複数の職員で念入りに点検を行います。無線機などの精密機器は梱包や輸送にも細心の注意を払い、全国から集まった大切な物品の適切な管理を心掛けています。

変化していく時代の中で

東北管区警察学校庶務部会計課長
櫻井 康治 Sakurai Yasuharu

平成11年
入庁

東北管区警察学校では、主に東北地方6県警察の警察官（警部補等）及び行政職員の幹部教育を行っています。私は会計課長として、築50年を超える校舎と宿舍の維持管理や必要な資機材の調達、その他予算に関する業務を担当しています。

施設の老朽化が進んでいますが、宿舍については最近の改修工事により、見違えるような新しい建物に生まれ変わりました。また、トイレ改修では清潔な衛生器具に一新するなど、限られた予算の中で入校者や当校職員が快適に過ごせるような環境を整えています。

会計業務は多岐に渡りますが、清潔・安全な施設維持と教育環境の整備を二本柱として日々邁進しています。とはいえ息抜きも大切です。見た人がくすっと笑えるような注意喚起を掲示するなど、学校ならではの明るい雰囲気を保つことも心掛けています。

💡 どんな人が向いていますか？

警察庁事務官は変化に乏しい職種と思われるがちですが、実際には過去に囚われることなく、時代環境に適応しながら主体的に対応していくことが求められます。時代の変化に柔軟に対応し、何事も楽しみながら細部にまで気配りできる人。そんな人が警察庁事務官に向いているのではないかと私は考えます。



近畿管区警察局滋賀県情報通信部通信庶務課長
竹本 智恵 Takemoto Chie

平成11年
入庁

組織が力を発揮するために



滋賀県情報通信部は、主に滋賀県の警察活動における情報通信インフラの整備や維持管理、災害や事件の現場映像の伝送、押収したスマートフォンの解析などの業務を行っています。大半は技官採用の技術職員ですが、私が所属する通信庶務課では、職員の給与計算、工事や物品購入の契約、資機材の管理といった業務を事務官が行っています。これらは警察活動を基盤から支え、組織が力を発揮するために必要不可欠な業務です。

もし、整備に必要な物を購入するための契約ができなかったら？使う予定の機材がいつの間になくなっていたら？職員に給料が適切に支払われていなかったら？そんな組織ではいくら優れた技術職員がいても仕事はできません。

警察庁事務官は総務的な仕事を担い、警察組織の一員として今日も国民の安全・安心を守り続けています。

💡 どんな人が向いていますか？

地道な仕事にも前向きに取り組み、法令等の根拠を確認しながら確実に進めることができる人。そして、自分が所属する組織の中の人はもちろん、組織の外の人も円滑なコミュニケーションがとれる人が向いていると思います。





令和5年 入庁
東北管区警察局警務課 主任



令和7年 入庁
中部管区警察局岐阜県
情報通信部通信庶務課 係員



令和5年 入庁
東京都警察情報通信部
通信庶務課 係員

Q 警察庁に決めた理由は？

進路を決めるに当たって、人々がより安心して暮らせる社会づくりに貢献したいという思いがありました。業務説明会で初めて警察庁という組織を知り、国民の安全・安心のための治安維持に貢献できるところに魅力を感じて入庁を決めました。また、警察庁では組織として業務を遂行していくと同時に、ワークライフバランスを実現できる環境が整っていることも決め手の一つでした。

就職するに当たって警察関係の仕事に興味があり、現場で働く人々を支えるような仕事をしたいと考えました。管区警察局の業務説明会に参加した際に、警察庁事務官の仕事は警察活動の基盤を支えることであることを知り、縁の下のような存在に大きな魅力を感じました。私も警察組織の一員として第一線で働く人々をサポートしたいと強く思い、入庁を決めました。

業務説明会で情報通信部という組織を知り、警察活動の情報通信を支える仕事という点に大きな魅力を感じました。事務職員として警察組織の基盤を裏方から支えることが自分の適性に合っていると感じたので、警察庁事務官を志望しました。官庁訪問の際に職員の方とお話しする機会があり、やりがいや使命感を持って仕事に取り組んでいる姿勢に熱意が感じられたことも決め手になりました。

Q 入校(初任科)の感想

採用後は赴任地の県警察学校と警察大学校附属警察情報通信学校(情通校)に入校しました。特に、情通校での生活が印象に残っています。全国の同期と一堂に会して業務に関する基礎知識を習得できる環境の中、仲間と助け合いながら学習に励みました。また、休日は都内観光をするなど、有意義な入校生活を過ごすことができました。

警察大学校附属警察情報通信学校に入校しました。業務には根拠となる規程があり、きちんと理解して正確に行う必要があります。そのために必要な基礎知識を学ぶことができました。また、全国から同期である情報通信職員が入校することもあり、他県の人と交流を深める良い機会でした。今でも相談できる仲間が全国にいることは、業務を進めていく中で安心感があります。

採用後、警視庁警察学校に入校しました。約1か月の入校期間で警察業務の基礎知識や関係法令を習得するほか、集団生活を通じて警察職員としての倫理観を学びました。学校生活には規律があり、時には教官から指導を受けることもありましたが、同期とともに学び、様々な課題を協力して乗り越えた経験は貴重な財産です。これらの経験は仕事をしていく上でも役立っていると感じます。

Q 印象に残っているエピソードは？

県情報通信部の経理係のときに初めて実施した入札業務が印象に残っています。過去の事例や関係法令を確認するなど、早い段階から事前準備を入念に行い、自分なりにしっかり手順を身に付けて臨んだことを覚えています。途中、想定外のことが起こりましたが、ひとつひとつ状況を整理しながら適切に対応し、最終的に落札・契約までたどり着いたことは大きな自信につながりました。

県内で大規模なイベントがあり、初めて警衛活動に携わったことが印象に残っています。現場の警察官が使用する無線機を他県の情報通信部から大量に借り受け、不具合等がないか部内職員が丸丸となって確認作業を行いました。一つ一つしっかり確認する必要があるため長時間の作業となりましたが、イベントが無事に終了したときにはほっとするとともに自分も警察活動を支えている一員であることを実感しました。

採用1年目に「警視庁年頭部隊出動訓練」に参加したことが印象に残っています。警視庁の機動隊を筆頭に、銃火器対策部隊や警察犬部隊、騎馬隊などとともに機動警察通信隊の一員として明治神宮絵画館前を行進しました。普段の業務では一般の方々と接する機会がないためとても緊張しましたが、警視庁の重要な行事に警察職員として参加することで身の引き締まる思いがしました。

9:00 出勤



子どもを保育園に送ってから出勤するため、遅出勤務を利用しています。勤務時間についてはワークライフバランスを意識し、業務や育児等の状況によって柔軟に対応できる各種制度を活用しています。この日は業務での外出予定がないため、オフィスカジュアルで出勤しています。

10:00 照会対応



勤務時間や文書管理に関する制度を担当しており、各所属から寄せられた問合せに迅速かつ丁寧に回答します。「この場合の休暇の種類は?」「この規程の解釈は?」誤った回答は職員の不利益や文書の誤廃棄に繋がることもあるため、規程をしっかりと確認し、時には根拠となる資料を提示するなど正確に伝わるよう工夫しています。

12:00 昼食



昼食は、お弁当を持参して食べています。天気によれば食後に散歩することも。庁舎の近くには広島城や公園があり、多くの人で賑わっています。季節を感じながら歩くことで気持ちを整え、午後の業務に向けてリフレッシュしています。

13:00 会議の準備



会議関係の事務担当として、資料の準備や会場の予約・設営などを行います。関係部署と連絡調整を行い、各種手続きに漏れがないようにします。毎週開催される定例会議、年1回開催される大会議など、会議の規模は様々ですが、円滑に進行できるようにしっかりと準備します。

15:30 調査対応



本庁や管区局内の所属など、様々なところから調査依頼があります。日常業務においてデータを整理しておき、定例調査には効率的に回答できるよう普段から準備しています。また、管区内各県を取りまとめる立場にあるため、必要に応じて調査依頼を行い、期限までに回答できるよう計画的に対応する必要があります。

17:45 退庁



繁忙期は超過勤務をすることもあります。基本的には定時に退庁するようにしています。自宅では家族との時間をゆっくり過ごし、明日への英気を養います。翌日が休日の場合は趣味の時間を充実させてリフレッシュしています。



平成31年 入庁
中国四国管区警察局警務課 係長

休日の過ごし方

休日は家族と過ごすことが多く、公園などに出かけたりします。最近は息子の成長を感じられる場面も多く、一緒に遊ぶ時間が楽しくなっています。また、昨年からランニングがマイブームになっており、走ることで心身ともにリフレッシュ。現在はフルマラソン完走を目標に練習しています。充実したプライベートによって相乗的に仕事へのやる気が高まっていると感じます。



仕事と育児等の両立支援制度

職員のライフステージには、妊娠・出産・育児・介護など、様々な事情が生じる可能性があります。これらの事情に対応しながら働き続けるために、国家公務員には様々な支援制度があります。

出産・育児に関する制度の例

産前休暇

(出産予定日の6週間前から)

産後休暇

(出産の日の翌日から8週間)

配偶者出産休暇

(妻の出産に係る休暇：2日間)

育児休業

(3歳まで)

子の看護等休暇

(小学3年生まで：年5日)

育児短時間勤務

(小学校就学まで：通常より短い勤務時間)

女性職員へのインタビュー



平成24年 入庁

九州管区警察局通信庶務課 係長

Q 出産・育児に関してどのような制度を利用しましたか？

産前・産後休暇と育児休業を約3年取得しました。復帰後は子どもの保育園や学童のお迎えのため早出勤制度を利用しています。また、子どもの体調不良や予防接種、定期健診の際は、子の看護休暇(特別休暇)を取得しています。

Q 実際に利用してみて、どのように感じましたか？

はじめは育児に関する制度を利用することで周りに迷惑をかけてしまうのではないかと少し不安でした。復帰後の勤務スタイルも含めて上司に早めに相談した結果、周囲の方の理解やサポートによって安心して育休を取得することができました。今では生活スタイルに合わせて様々な制度を活用し、充実した毎日を過ごせていることをありがたく思います。

育児などのライフイベントに合わせて無理なく勤務できることは大きな魅力だと感じました。

Q 育児によって働き方は変わりましたか？

限られた時間の中で業務を行う必要があるため、「迅速かつ効率的な処理」をモットーにしています。定例的な報告や調査回答は後回しにせず、計画的に業務を進めています。また、子どもの体調不良等で突発的に休むこともあるので、担当係内での業務分担や進捗状況はこまめに共有することを心掛けています。

Q 志望者へのメッセージをお願いします。

警察庁には子育てをしながら活躍している女性職員がたくさんいます。仕事と育児の両立に不安を感じるかもしれませんが、充実した制度とそれを活用しやすい環境、そして職場のサポート体制がしっかり整っています。ワークライフバランスが実現できる警察庁で皆さんと一緒に働く日を心待ちにしています。



一日のスケジュール

5:50 起床、朝食準備、出勤準備
6:30 子ども起床、朝食、登校準備
7:15 出勤
7:45 登庁
16:45 退庁、保育園・学童お迎え
18:30 帰宅、夕食準備、子どものお風呂
19:30 夕食
20:30 宿題・授業準備確認(子どもとの自由時間)
21:30 子どもの寝かしつけ
23:00 就寝

その他の制度

研修制度

採用直後に管区警察学校等に2週間程度入校し、新任研修を受けることとなります。また、昇任時の「任用科」、情報通信部門や会計部門等の専門分野に特化した「専科」など、系統的に能力の向上を図るための研修が用意されています。

休暇制度

年間20日間(採用年は15日間)の年次休暇のほか、夏季は連続3日間の特別休暇があります。また、結婚する場合や親族が死亡した場合などに取得できる休暇もあり、いずれも有給休暇となっています。

福利厚生

共済組合制度があり、各種保険、短期・長期給付事業等、警察職員が安心して快適に職務に専念することができるよう充実した福利厚生の仕組みが整っています。また、各種契約施設を割引で利用することができます。

男性職員へのインタビュー



平成28年 入庁

警備企画課 主任

Q 出産・育児に関してどのような制度を利用しましたか？

妻の出産予定日の前後に、特別休暇の配偶者出産休暇と育児参加休暇を合計7日間取得しました。最近では男性職員の育児休業が当たり前になっていますので、私は約6箇月の育児休業を取得しました。男性としては比較的長期間でしたが、しっかり育児に専念できたので良かったと思います。

Q 実際に利用してみて、どのように感じましたか？

妻の妊娠が判明した段階で育児休業を取得することを視野に入れていましたので、今後の予定についてすぐに上司に相談しました。自分が不在の間の業務分担の見直しや引き継ぎなど、所属として全面的にサポートしてもらえたので、安心することができました。育児休業中は子供の成長を間近で見られることが楽しく、本当にかけがえのない時間でした。育児に専念できる環境にあることを大変ありがたく感じました。

Q 育児によって働き方は変わりましたか？

育児休業を取得したことにより、育児の大変さをより実感しました。復帰後も育児に参加できるよう、早出遅出勤の制度やテレワーク(在宅勤務)を利用しています。以前は時間が気にせず残業することもありましたが、今では定時までの限られた時間内に処理できるよう優先順位を明確にするなど、周囲の協力を得ながら仕事と育児の両立に努めています。



Q 志望者へのメッセージをお願いします。

警察は厳しいイメージがあるかもしれませんが、同じ組織内の仲間を尊重し、どんなことでもすぐに相談できる環境が整っています。警察組織の基盤を支えるというやりがいのある仕事をしながら家庭生活も大切にしたい方、将来の選択肢に「警察庁事務官」を加えてみてはいかがでしょうか。皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。



一日のスケジュール

5:45 起床・身支度
6:00 子ども起床
6:15 朝食(子どもと一緒に)
7:30 保育園見送り
9:45 登庁
18:30 退庁
20:30 帰宅・夕食
21:00 お風呂・家事・登園準備
23:00 就寝